

## 平成20年5月受託研究審査委員会の結果について

受託研究審査委員会第2委員会  
委員長 是恒 之宏

先に申し込みのあった新規自主研究、継続自主研究について独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター受託研究取扱規程第4条第1項、国立病院機構 大阪医療センター受託研究審査委員会細則第5条第1項および同第5条第3項に基づき、平成20年5月27日審議を行った。

新規自主研究「腎細胞癌治療における IFN- $\alpha$  製剤最適投与方法の検討」、「難治性心室細動症例の治療実態に関する研究」、「HIV 感染症治療のためにホスアンプレナビル 1400mg+リトナビル 200mg を服用している患者において、リトナビルを 100mg に減量した後の臨床効果、安全性および薬物動態を検討する試験」、「胆道癌治癒切除例に対するゲムシタビン術後補助化学療法の投与方法別無作為化比較試験」については修正の上承認とした。「早期乳癌に対するラジオ波熱凝固療法手技の確立と安全性の評価」については却下とした。

実施計画書記載内容等変更報告7課題については変更を承認した。

継続自主研究13課題については、特に問題なく継続実施を承認した。

その他、「研究計画ならびに研究倫理審査委員会の審査の内容に関する調査」への協力の依頼について報告された。